

昭和初期のクラシカルな空間で楽しむ無料コンサート

名古屋市公会堂 クラシック廣間

Vol.18 「サクソフォン四重奏による新春の訪れ」

事業レポート

去る1月10日（月祝）、名古屋市公会堂 Vol.18 を開催しました。当日の会場の様子をご報告します。前回までのレポートも併せてお読みください。

本格的な寒さが続く中、コンサートを通じて新春の訪れを少しでも感じられるように、名古屋市公会堂クラシック廣間 Vol.18 を開催いたしました。

今回の演奏者は日本特殊陶業市民会館にご協力頂き、岩田基陸、飯塚彩乃、柳田恵里、國領さおりのサクソフォン四重奏でした。



ロビーで開催されていたクラシック廣間をコロナウィルス感染対策の為、前回に続き人数制限を設け大ホールにて開催しました。

開催協力の日本特殊陶業市民会館スタッフより開演前の挨拶をさせて頂きました。



4人の息の合った演奏が会場を包み込みます。クラシックの曲を9曲お届けしました。

またメンバーによる軽快なトークを織り交ぜた楽器・楽曲解説があり、お客様から好評を頂きました。

サクソ四重奏の華やかで迫力ある音がホールに響き渡り、拍手喝采の中、コンサートは幕を閉じます。日本特殊陶業市民会館のマスコットキャラクターの挨拶の後、アンコールを演奏し終演となりました。



以下にごく一部ですが、アンケートにお寄せいただいた皆さまの感想をご紹介します

- 素敵な演奏ありがとうございました。また、参加したいです。
- サックスの4重奏は初めてなので楽しく聞く事ができました。ありがとうございました。
- はなやかな雰囲気です。クラシックとサックスのイメージが変わりました。演奏者のみなさんのサックス愛が伝わりました。みなさんこれからも頑張ってください。

クラシック廣間の魅力はクラシックファンだけでなくどなたでも気軽に聴けること。

また、演奏者自身による曲目解説などのトークもあり、演奏者をより身近に感じることができます。

不定期の開催になりますが、次回開催が決まりましたら HP でお知らせします。

是非お楽しみに！